



延期が決定した舟っこ流しですが、8月16日は送り盆です。で、この日も雨の中、大慈寺の和尚さんによる読経が行われました。
19日、関係者が現地に集まり、開催日についての会議が行われ

鉾屋町 町内会だより

舟っこ流し 8月16～8月20日

ました。結論から言うと、今後ダムの放流に伴う水量の増加が起るため、20日に決行となりました。これは北上川水系全体での調整であり、四十四田ダムだけの問題ではないそうです。

不定期発行
発行者
鉾屋町町内会
編集/文責/撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎
印刷
小松総合印刷
株式会社



8月20日当日、朝早くから山本さん、岩崎さんが、舟っこに取り付ける花火などの準備を始めます。発炎筒・花火類は、万が一の事故に備えて、なるべく





同時並行して、舟つこの周りの片付けも行います。テント周囲の幕が取り払われ、舟つこの姿を表しました。



本番直前に作業するようにしているそうです。速火線(速く燃える導火線)を張り巡らせ、発炎筒などに1本づつ接続していきます。



雨の中、子ども会育成会の皆さんが集まってきました。五色旗を持って出発です。



会場も雨のため、やや混乱気味でしたが、なんとか始まりました。鉾屋町の順番が回ってきます。



下町、十文字、鉾屋町、川原町と練り歩き、自動車を止めて、明治橋交差点を駆け抜けます。



増水した濁流に加え、水深が突然深くなるなど困難な状況でしたが、舟は綺麗に燃え上がっています。



今回、川に初めて入りました。それと同時に、川の中からの撮影も試みました。



天候には恵まれなかったものの、3年ぶりの舟つこ流しは無事終了しました。



参加してくださった方、お手伝いしていただいた方、皆様本当にありがとうございました。



上方講談師が 鉾屋町にやってきた

文化庁の事業で、いわてアートサポートセンターなどが主催する上方講談会が、8月23日から鉾屋町を中心に行われました。今回いらしてくださったのは、この道24年のベテラン旭堂南湖(きよくどうなんこ)さんと、気鋭の新人旭堂一海(きよくどういつかい)さん。



この事業は単に公演を行うだけでなく、盛岡に滞在して、講談会を日々こなしつつ、地域



の歴史や偉人、逸話などを学び、それを元に盛岡を舞台とした新作講談を作っていたら、という贅沢な企画です。しかも来年1月に、その新作講談を披露するため、再び来盛してくださるとのこと。



北上川の舟運にも、体験乗船していただきました。



大坊顧問の案内で、鉾屋町周辺を廻ったり、大慈寺小学校で講談の体験授業を行ったり、



今年は違う色も混じっており
ます。どれも綺麗。(桂)

朝顔日記 2022

これは町家物語館で行われた
怪談座談会。これらの体験が新
作講談にどう生かされるのか、
いまから楽しみです。



9月11日 資源回収

今回は量としては、やや少な
め、天気にも恵まれたため、早々
に片付いた感がありました。皆
様お疲れ様でした。



盛岡秋まつり山車

9月14日、3年ぶりに盛岡の
町中を山車が巡りました。

鉾屋町には盛岡山車推進会
の、演目風流五條大橋見返し
一寸法師が運行され、太鼓の音
に導かれるように、多くの人が
訪れていました。